

## 結城紬生産技術研究会

支援先

結城紬製造業

## 【目的】

結城紬産地の課題のひとつに後継者の確保・育成があります。結城紬の生産工程は、ほぼ全てが手作業であり、各生産者が長年の経験により培われた技術によって、生産に取り組んできました。

これまでの結城紬の後継者は、それぞれの生産現場で繰り返し生産に携わりながら、独自の技術を継承することで育成されてきましたが、近年は複数の技術者の指導による育成体制をとることが多くなってきました。

そこで、将来にわたり効果的な人材の育成を図れるよう、生産者の方々と情報・意見交換しながら、各生産工程技術の研修用テキストを作成するとともに、工程の再検証や技術情報の共有を目的として、本年度より本研究会を立ち上げ活動しています。

## 【内容】

結城紬の生産工程は、細かい部分も含めると 40 以上の工程があります。

今年度は、無地・縞織物の下ごしらえ（製織前の準備工程）に関連する各工程について、当所の実施例や試験結果の紹介を行うとともに、会員企業での手つむぎ糸の選別や糊付け、整経条件などに関して意見交換を実施しています。

これまでは、作業内容の細かい点まで生産者同士で議論する機会がなかったこともあり、研究会では活発な意見交換が行われました。

研究会については、今後も工程ごとの作業内容等の検証を継続して実施し、テキスト化を進める予定です。



図 1 研究会の様子

第 1 回研究会 平成 29 年 7 月 7 日（5 社 5 名）

・下糊付け作業工程に関する意見交換

第 2 回研究会 平成 29 年 12 月 18 日（7 社 7 名）

・整経・本糊付け作業工程に関する意見交換

今後の予定

第 3 回研究会 平成 30 年 2 月

・機巻き作業工程に関する意見交換

## 基礎となった事業

平成 29 年度 オンリーワン技術開発支援事業（研究会）

## 現在の担当部門

紬技術部門

部門長

篠塚 雅子

TEL:0296-33-4154

主任研究員

本庄 恵美

主任研究員

中野 睦子